

次期仙台市空家等対策計画(第3期)の策定について

1 趣旨・必要性

現行の「仙台市空家等対策計画(第2期)」は、令和4年度から令和8年度までを計画期間としており、本年度で期間満了を迎えること、また市内の管理不全な空き家の総数は、改善を上回って少しずつ増加する傾向にあり、引き続き空き家対策に取り組んでいく必要が高いことから、令和9年度から令和13年度までを計画期間として「仙台市空家等対策計画(第3期)」の策定を行う必要がある。

2 計画期間

令和9年度～令和13年度(5年間)

3 今後の課題

現計画では、「管理不全な空家等の適切な管理と除却の促進に関する取り組み」として所有者等による自主的な改善を促す施策等を重点的に実施してきた。

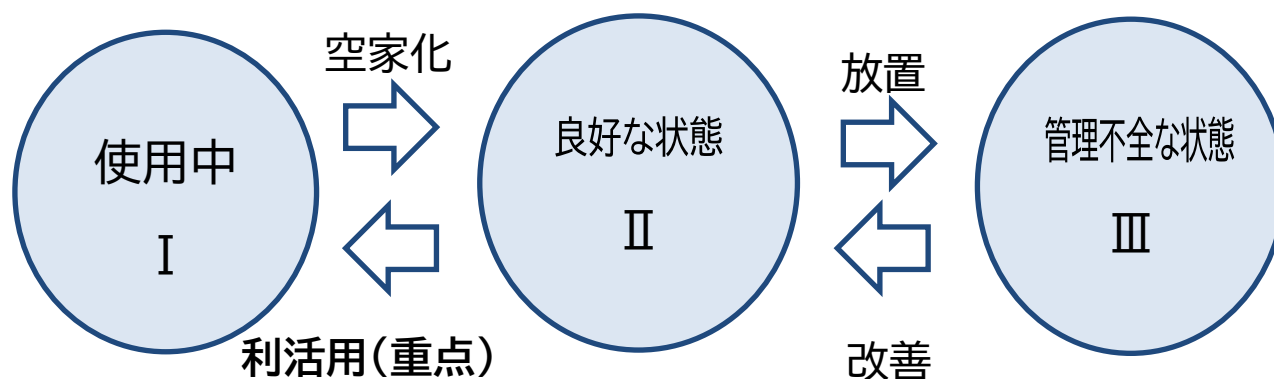
しかしながら、少子高齢化や単身世帯の増加等の今般の社会情勢の影響もあり、今後も空き家の数は増加していくことが想定される。

次期計画では、将来的な管理不全な空き家化を予防できるかという視点で、いかに良好に管理されている空き家を市場に流通させ、利活用できるかということが課題であると考える。

4 次期計画の方向性

現状の分析・課題等を踏まえ、次期計画では現計画に引き続き、法の規定に基づき所有者等に対する適切な管理促進、特定空家等への対処を進めるとともに、空家等の利活用の促進を重点的に図るものとする。

求められる対策と方向性



啓発・適切な管理の促進

(I ・ II に対応)

利活用の促進

(II に対応)

管理不全な状態の

解消(III に対応)

【方向性】

- ・空家等になる以前からの情報提供(I に対応)
- ・所有者等が不明にならない環境づくり(I に対応)
- ・空家等の専門的な相談の充実(I ～ III に対応)
- ・空家等の利活用の促進に関する取り組み(II に対応)
- ・管理不全な空家等の適切な管理と除却の促進に関する取り組み(III に対応)

5 検討体制

仙台市安全安心街づくり推進会議に部会を設置し、部会委員は同会議委員と各関係団体からの推薦等による専門委員の合計 10 名(別紙のとおり)で構成して審議を行う。

6 スケジュール(経過・予定)

令和8年5月 第1回部会(現状、現計画まとめ)

7月 第2回部会(骨子案)

10月 第3回部会(中間案)

11月～12月 市民意見徴収(パブリックコメント)

令和9年2月 第4回部会(パブリックコメント結果報告・最終案)

3月 次期空家等対策計画の策定

仙台市空家等対策計画検討部会委員名簿

	氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
1	いとう みゆき 伊藤 美由紀	東北工業大学ライフデザイン学部 准教授	推進会議委員
2	かんの きよし 菅野 清志	仙台市防犯協会連合会 副会長	推進会議委員
3	きむら みきお 木村 幹夫	宮城県司法書士会 常任理事	専門委員
4	くまがい さきこ 熊谷 早希子	仙台市連合町内会長会 南光台東部連合町内会	推進会議委員
5	こばやし としこ 小林 淑子	一般社団法人 宮城県建築士会 副会長	専門委員
6	ちば かずひろ 千葉 和弘	公益社団法人 宮城県宅地建物取引業協会 情報業務委員会 副委員長	専門委員
7	はしもと けいいち 橋本 啓一	仙台市議会議員	専門委員
8	ふくや しょうこ 福屋 粧子	東北工業大学建築学部 教授	専門委員
9	やつ さとし 谷津 聡	一般社団法人 シルバーパートナーズ 理事	専門委員
10	やまもと ことえ 山本 琴枝	公益社団法人 全日本不動産協会 宮城県本部 副本部長	専門委員

(50 音順・敬称略)
(令和 8 年 5 月 27 日現在)